

# 基盤地図情報作成検査ツール バージョン 6.0.65 更新記録

2011/03/30  
有限会社ジオ・コーチ・システムズ  
<http://www.geocoach.co.jp/>  
[info@geocoach.co.jp](mailto:info@geocoach.co.jp)

## 1. 基盤地図情報XML作成

メニュー[基盤地図情報]-[ 基盤地図情報 XML 作成]で出力する XML の「出典メタデータ」と「編集フラグ」の出力について、分類コードによる判定に 2200,3000,5200 を追加しました。

### 【出典メタデータ】

XML ファイルには次のような条件で「出典メタデータ」をセットします。

(1) 変換元シェープファイルに DM 分類コードがあり、以下の場合、接続編集で追加された地物として XML のタグは出力しません。また、編集実施フラグを True にします。

分類コード	地物
1100	行政区画境界線・町字の境界線
1111	行政区画・町字の代表点
2100	道路縁
2200	道路構成線(version6.0.65 から追加) ←
2300	軌道の中心線
3000	建築物(version6.0.65 から追加) ←
5100	水涯線・海岸線
5200	水部構造物面(version6.0.65 から追加) ←

(2) 変換元シェープファイルの属性「出典メタ」が定義されている場合、その属性値を XML に出力します。シェープファイルに属性が定義されていても、属性値が空白の場合、接続編集で追加された地物として、XML のタグは出力しません。

(3) 変換元シェープファイルに属性が定義されていない場合、ダイアログで指定された作業単位

- (ア) 作業単位は単数：ダイアログで指定された文字列
- (イ) 作業単位は複数：作業単位のポリゴンシェープファイルで該当するポリゴンの属性値